



# 環境リモートセンシング 研究センター

Center for Environmental Remote Sensing

## Newsletter No.221

千葉大学環境リモートセンシング研究  
センター ニュースレター 2024年4月  
発行：環境リモートセンシング研究センター

(本号の編集担当：楊偉)

住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

Tel: 043-290-3832 / Fax: 043-290-2024

URL: <https://ceres.chiba-u.jp/>

## 2024年度リモートセンシングコース新入生ガイダンス

令和6年4月4日に環境リモートセンシング研究センター(CEReS)内の講義室において、「新入生ガイダンス」を開催いたしました。東京管区気象台が桜の満開を発表したこの日、大学構内の桜の見ごろとガイダンスの日が重なり、心も景色も晴れやかな一日となりました。

本年度、博士前期課程16名及び博士後期課程5名がリモートセンシングコースの新入生としてCEReSに加わりました。この数年はCOVID-19の影響でオンラインやハイブリッドによるガイダンスを行ってきましたが、今年は新入生全員と教員が講義室に一堂に会しての開催となりました。皆さんがCEReS内の研究室を越えて交流を深め、そしてお互いを高め合いながら大いに研究に励んでいただきたいと思います。(本郷千春)



## International ties of CEReS — What's up, graduates?

～ CEReS 修了の留学生 世界で活躍！ 2024 ～

今号では、2019年3月に学位を取得され、母国インドネシアにて尽力されているRaziさんをご紹介します。インドネシアは日本同様、地震などの自然災害が多い国で、千葉大学にて研究した成果を生かすべく次世代のリーダーとして活躍されています。

✚ Prof. Pakhrur Razi, PhD.



Prof. Pakhrur Razi, PhD, usually known as Razi, from 2016 to March 2019 was a doctoral student at the Josaphat Microwave Remote Sensing Laboratory (JMRS�), Center of Environmental Remote Sensing (CEReS), Chiba University, Japan. He is under the guidance of Promoter Prof. Josaphat Tetuko Sri Sumantyo, Ph.D., and Co-Promoter Prof. Hiroaki Kuze. Four years after completing the doctoral program, on May 1, 2023, Razi was officially appointed as a professor in the

field of Disaster Physics at Padang State University, Indonesia. The research topics carried out by Razi during his doctoral program and after graduation were related to mitigating potential natural disasters, including earthquakes, land deformation, landslides, subsidence, liquefaction, floods, wildfires, and

volcanic eruptions. During his doctoral program, Razi has produced 15 articles and journals, some of which were indexed by Scopus at the IEEE publisher with a Q1 quartile. These articles are the result of joint research under Prof. Josaphat as Principal Investigator (PI) with the Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA) and the European Space Agency (ESA). After completing the doctoral program, together with Prof. Josaphat, Razi also received a research grant from the Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA) as Principal Investigator (PI) for 3 years (2019–2022) with the research topic of strain accumulation monitoring on Sumatra and Java megathrust zones using ALOS-2 for prediction the potential earthquakes and tsunamis, and in 2022–2025 for the topic of high precision carbon stock estimation using Radar SAR, together with a laboratory friend during the doctoral program, namely Yuta Izumi. After completing the doctoral program, Razi was appointed as Expert Staff to the Deputy Rector IV for Cooperation and Planning and is currently trusted as Head of Sub-Directorate for University Reputation. In this additional position, Razi is also still active in writing to produce publications from research funded by the Indonesian Ministry of Education through DRTPM, LPDP, and the internal campus of Padang State University. Currently, articles and journals continue to be published by reputable publishers. Razi also won first place as academic leader at Padang State University in the field of science and engineering organized by the Ministry of Education, Research, and Technology, Indonesia, in 2023 and represented UNP at the national level.

## 小槻・岡崎研究室より活動報告

～ 小槻・岡崎研究室通信 ～

### 第34号／2024 年度キックオフ

2024 年度が始まりました。新たに2名の4年生と1名の特任研究員を迎え、4月時点の体制として総勢28名の大所帯になりました。今年度も引き続き、教育研究活動に熱意を持って取り組んでいきたいと思えます。

人数も増えてきて、少しずつ意思疎通の難しさにも直面し始めています。毎年、1年のモットーを決めていますが、2024年度は「Reproducible Research Success」としました。研究業界全体で感じるのですが、どうやったら研究が上手く進められるのか、どうやったら論文執筆が効率化できるのか、といったノウハウが個人の経験に蓄積されていて、あまり体系化されていないように思います。それを極力言語化してテンプレート化していくことで、やる気のあるメンバーの科学論文発表を加速できるような仕組み創りに注力したいと思います。そろそろ、新しい研究室ですという言い訳も通用しないので、研究成果を加速していけるように、努力したいと思います。

(小槻峻司・岡崎淳史)



研究室の2024年度・キックオフカンファレンスより

## ✦ 新教員紹介

### ■ 竹島 滉 特任研究員



この度博士号を取得し小槻・岡崎研究室に特任研究員として勤めることになりました竹島滉です。卒業の少し前から「こういう研究に興味は無いか」「うちの研究室に来る気は無いか」といったお声をそれぞれ別の方から掛けていただいており、それがどちらも小槻研だったと知ったときには世界は狭いなあと感じたものです。

学部から博士までずっと東大の芳村研究室でしたが、研究テーマは河川防災、陸面過程モデルと人間活動モデル、リマッピングと、それぞれ異なるものでした。そして今度は気象モデルとデータ同化を用いるということで、一見取っ散らかっている感がありますが、僕の中では全て繋がっています。とはいえデータ同化は学び始めたばかりで、どういうことが出来るのかもまだ明確にイメージできてはいませんが、色々面白いことができそうで楽しみです。

これからどうぞよろしくお願ひします。

### 第35号／日本科学未来館のイベントに出展してきました

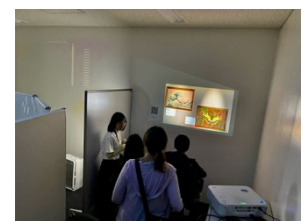
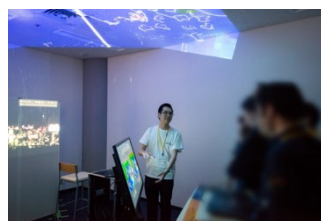
3月31日に日本科学未来館で開催されたムーンショット目標8のイベント、「天気をあやつる？ ～Eテレ映像と実験でのぞき見る気象研究の未来～」にサイドイベントとして出展いたしました。曾我、白石、金子が中心となり展示物やグッズの企画・作成を行い、当日は、小槻、岡崎、武藤、塩尻、黒澤、金丸、船富も参加し、イベントを盛り上げました。

今回の目標は、一般の方々に我々のプロジェクトに親しんでいただこう、というものでした。白石君の「降水超解像」にフィーチャーし、この魅力をいかに伝えるかを考えてきました。プロジェクションマッピングにより、「超解像概要」、「降水超解像」、「AI超解像画廊（クイズ）」の3つの展示を行いました。想像以上に多くの方に足を運んでいただき、楽しんでいただけたのがとても嬉しかったです。1ヶ月にわたって真剣に悩み考えてきた作品が、このように実を結んだことに達成感を覚えました。

来場いただきました皆様に御礼申し上げます。これを機に当プロジェクトを知っていただき、応援いただければ幸いです。

また、お忙しい中たくさんのご協力をいただきました、JSTや未来館スタッフの皆様にも御礼を申し上げます。

次回の展示もお楽しみに！（金子凌）



イベントの様子

